



# 望月将悟 (井川)

# 植田 徹 (川根)

ユネスコエコパークに登録された、静岡市井川と川根本町の魅力を伝える、地域でつくる新聞

# 井川と川根をつなぐ いかわね新聞 No.10

いかわね新聞第10号 2018年7月1日発行(年2回発行)  
発行 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会  
〒420-8602 静岡市葵区追手町5の1 静岡市環境創造課内  
TEL:054-(221)-1357

【会員 静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町、株特種東海アオレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずてつジャストライン(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、自然公園指導員(協力)井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス・井川エコツアー推進協議会、一般社団法人エコティかわね】

【会の紹介】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。

## 2018 7月~ イベントカレンダー

7月	7日(土)	かわね	南アルプス寸又峡口山開き
	14日(土)	かわね	平谷の流したい(瀬平地区)
	16日(月・祝)	いかわ	南アルプス山開き
	21日(土)	いかわ	リバウェル井川夏スキー-OPEN
8月	21日(土)-22日(日)	いかわ	リバウェル井川ヤナギランまつり
	12日(日)	いかわ	リバウェル井川大流しそうめん
	15日(水)	いかわ	井川夏祭り
	15日(水)	かわね	徳山の盆踊
10月	16日(木)	かわね	百八たい(下長尾地区)
	18日(土)	いかわ	井川で風作りとうまいもの満喫(南アルプス井川オートキャンプ場)
	26日(日)	いかわ	二十六夜祭
	7日(日)	いかわ	リバウェル井川なめこ収穫体験
11月	7日(日)	かわね	徳山神楽
	13日(土)	かわね	梅津神楽(接岨峡)
	15日(月)-29日(月)	かわね	寸又峡 和紙のあかり展
	20日(土)	かわね	敬満大井神社 大祭(千頭)
12月	27日(土)	かわね	奥大井もみじ祭(寸又峡)
	28日(日)	いかわ	井川大仏例祭・井川湖渡船祭り
	3日(土・祝)	いかわ	井川ダム祭り
	4日(日)	かわね	川根本町産業文化祭(上長尾)
1月	10日(土)	かわね	奥大井ふるさと祭り(千頭)
	11日(日)	いかわ	井川もみじマラソン大会

※予定は変更される場合があります。詳しくは下記までお気軽にお問合せください。  
井川観光協会 ☎054-260-2377  
川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746



### 南アルプス・光岳を目指そう！ 川根本町トレイルニング登山

日本百名山にも数えられる南アルプス・光岳(標高2592m)は川根本町が誇る宝！来年夏に光岳に登ることを目指し、第1回は5月19、20

日に「新緑の蕎麦粒山・三ツ倉編」と題して、1日目にトレッキング、2日目に光岳についての講座を行いました。

南アルプスを専門エリアに活動する登山ガイドの唐橋佳代子さんと、川根本町の山に詳しいエコティかわねの松本匠さんの2名でご案内。参加者の皆さんも健脚で、来年の光岳を目指したいというスタートを切りました！2回目以降、少しずつ難易度が高くなりますが、川根本町の四季折々の山の魅力を堪能しながら、トレッキングを積んでいきます。2回目以降からの参加も可能です。一緒に光岳を目指しませんか？

【問い合わせ】エコティかわね  
TEL:0547(58)7000

#### 今後のスケジュール

**2018年**  
9月8日(土) 朝日岳(1,826m)  
11月17日(土) 沢口山(1,425m)~天水(1,521m)

**2019年**  
2月16日(土) 七ツ峰(1,533m)  
5月25日(土) 前黒法師岳(1,943m)  
26日(日) 光岳講座(座学)

### いかわ 井川湖渡船

涼しい湖上から、ゆったり南アルプスを眺めてみませんか？井川湖渡船は、井川ダム~井川本村間を無料で運航しています。また、今年から井川ダム~宮向(自然の家側の乗降場)を結ぶ航路が新たに加まりました。新航路は団体での利用のみとなるため、井川支所(054-260-2211)まで事前にご連絡ください。井川本村周辺を回る遊覧コースもあります。航路・運航状況はHPからご確認ください。  
[http://www.city.shizuoka.jp/032\\_000005.html](http://www.city.shizuoka.jp/032_000005.html)  
文 上治祐佳子

### かわね なかかわね三ツ星天文台

川根本町は、平成6年に現在の環境省が実施した調査「全国星空継続観察」で、全国で2番目に澄んだ星空が眺められる場所に選ばれました。それをきっかけに、平成13年に三ツ星天文台が建設されました。毎週金、土、日曜日の天候の良い日に開館し、天文台スタッフが解説を行い、観望を楽しむことができます。普段見ている夜空と望遠鏡を覗いて見る星との違いに、感動すること間違いなし！  
文 土屋正成

### おすすめスポット

ここ知ってる？

### 南アルプスで出会い、築いた信頼

望月 植田くんとは、2年くらい前に樫島で会ったのが最初ですね。見たことのないバッグを使っている気になって声をかけました。そしたら自分で作っていると。僕も自分に合ったバッグが欲しかったのでオーダーしました。

植田 将悟さんはずっと憧れの存在でした。「こんなバックパックを作ってくれないかな。」と言われて、それは嬉しかったですよ。寝る間も惜しんで夢中で作りましたね。製作期間は1か月もなかったと思います。

望月 6月に出会って、8月には植田くん作のバックパックを背負ってレースに出ました。南アルプスを愛し活動する仲間だし、信頼しているからこそ頼めたんです。

### 地域への想いがつながる

望月 僕は井川の自然に囲まれて育ち

植田 僕は10年くらい前から南アルプス

全国にその名を馳せる山岳ランナーの望月将悟さんは、言わずと知れた「井川の星」。2016年、南アルプスが縁で知り合ったのが、植田徹さん。将悟さんとの出会いも後押しとなり、今年4月に川根本町へ移住したばかりの「川根の新星」です。いかわね新聞の発行第10号を記念し、お2人に地域の魅力や未来について語っていただきました。

「会の紹介」南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。

ましたが、子どものころは南アルプスとか山登りとかを意識したことはなかったですね。山というのは林業だったり、シイタケを育てたりする仕事の場合だと思っていました。

レースは、二十歳の頃に団体の山岳競技に出たのがきっかけです。今は国内外のレースに選手として出場したり、大会の企画や運営をしたりすることもできます。レースを通じて山を知ることでもできるし、山岳救助の仕事にも役立っています。トレイルラン(山岳レース)という競技はとて過酷だけど、自分の限界にチャレンジし、乗り越える楽しさがあります。しかも相手は自然。だからこそ学ぶことも多いんですよ。

でも、トレイルランはあくまで「人を呼ぶ」ための手段。ただレースができればいいんじゃないかって、地元の人と一緒に地域を盛り上げたいという想いです。地域と一体となっている大会にはファンやリピーターも多いんですよ。

